
リリカルマジカルナンカイル

ピッツァ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

リリカルマジカルナンカイル

【Nコード】

N6164Z

【作者名】

ピッシア

【あらすじ】

原作と転生者が交差する時物語が始まる…的な

ヒーロープロローグ(前書き)

短いですが

ヒーロープロローグ

うっ、うっ

「やあ！どうしたんだね！

空が青いのにどうして泣いてるんだい！」

ひっ！だ、誰？

「俺の名前何てどうでもいいじゃないか！
それよりもどうしたんだい？」

お、お父さんがけ、怪我して
お兄ちゃんがか、怖くなって
お母さんやお、お姉ちゃんが、忙しくなって
なのはが、な、なのはが

「そうか！何だか分からないがヒーローが不足してるんだな！」
えっ？

「世界にはヒーローが足りない！圧倒的に足りない！
世界がうまくいってない理由を知ってるか！」

し、知らな「そう！ヒーロー分が不足してるからだ！」

「今回は俺が助けてやるが、ヒーロー分が不足してる時には
君もヒーローになって困っている人を助けるんだぞ！」

えっ？えっ？えっ？

「な……………は」

「君も明日からヒーローだ！という訳だ」

「……………の……………」

「努力だぜヒーロー！友情だぜヒーロー！勝利だぜヒーロー！」

「な……………の……………は」

「ヒーローは強い！なぜならヒーローは……………」

「なのは……………」

「強いからだ……………」

「だから君もヒーローになるんだ！さて先に君を救つとしよう
君の家はどこにあぶるばっ……………」

「なのは大丈夫か！」

お、お兄ちゃん！？

「なのは、心配したじゃないか……」

『心配』？

お兄ちゃんが？

「当たり前じゃないか……
母さんだって美由紀だってもちろん父さんも
みんな心配してるよ……」

う、ううう

「ちゅ帰るじ……昏待ってるぢ……」

……うん……うん……！

「……………負けないぜ……………ヒーロー……………」

この会うはずでは無かった邂逅も
意味は無かった……………

結局この後高町なのは

は家族に迷惑をかけまいと

? いい子? になってしまっし

アリサ・ハニングス

月村すずか

と友達になり

魔法と出会っだろう

……………しかしあいつにヒーロー思考何てあったか?
転生させる前は20歳の会社員だぞ……………

b y ; 神

ヒーロープロローグ（後書き）

どう見ても柏木十字架です

本当にありがとうございます

ヒーロープロローグと中二病（前書き）

前より微妙に長いです

ヒーロープロローグと中二病

小学校に入学してからしばらくたったある日
ある事件が起こった

外から見れば小さな事だけれど関わった人には
重要な事件……

あ！あれは……喧嘩……というよりも
金髪の子がもう一人の子をいじめている？

せ、先生に伝えなきゃ……「いいのかい？」！！

そこにはレスラーマスクを被った子供の姿が……

「いって……それは……」

喧嘩を止めるのはいい事じゃないの？」

「それは確かにいいことだ
だがそれじゃあヒーローになれない」

ひー……ろー……

「俺は君にこう言った

？ヒーロー分が足りない時には君がヒーローになれ？」と

！？あの時の……

「今がその時だ」

「今が……その時……」

今がその時

「行って来い……なってこい……ヒーローに」

「うん！」

その時なぜこんな決断が出来たのか分からないけど
決断して良かったと思う
いい子では、出来なかった親友が出来たのだから

「外交問題を解決してこい……」

が……がいこう？

パッシーン！

「痛い？でも大切なものをとられちゃった人の心は、もっともっと
痛いんだよ」

「ふむ……原作通りに行つたかこの後俺も介入して
友達フラグを回収して、そしてゆくゆく……ふひひ」

うへへ、モテる男は辛いぜ

何もしなくとも勝手にハーレムが出来ちまうんだからな

「さて……」「待て!!」「!?!」

「まさかと思うがあのヒーロータイムに介入する気か？」

ひ、ヒーロータイム？

「そ、そつだよ悪いのかい？（話し方を変える白夜……元佐藤一郎）」

「

「当然だ!!あの中に入る事すなわち!

ゲームや漫画の話で盛り上がっている時に

「ねえねえ何の話?」とKY発言をする事に等しい!」

「グツ!!な、何だい君

も、もしかしてあれかい?

中二病って奴かい?あーイタター

そんな痛い奴に関わっている暇はないんでね

僕は行くよ」

「ちゆうにびよう?」

そんなおかしな名前では無いヒーローだ!

通ると言つなら俺を倒して見せる!!」

「……あー！めんどくさい！！上等だ
お望み通りぶっ飛ばしてやるよ！！
セットアップ！」

「Yes , my master」

「な、なんだそれは……だが！！俺は！ヒーローは絶対屈しない！
」！

「うおおおおー！！」

「俺は強い！何故ならヒーローは強いからだ！！」

「はあはあ

くそー！！魔法を使っているのに5分も持つとか化け物か！！
なのはは……ああ！もういない！

……まあいいまだ機会はある……はずだ」

「畜生！負けた……ヒーローが

負けるはずなのに、俺はヒーロー失格だ……

強くなつてやる！

ヒーローになつてやる！！

うおおおおおー！！最初は腕立て伏せ百回だ！！

一、二、三、四、……………」

結局この後の授業を丸サボりしたヒーロー……………西園寺^{さいおんじ} 多摩^{たま}
は先生に何故サボったんだと聞かれると

「ふっ、先生ヒーローには秘密が付き物なんですよ」

と格好つけて廊下に立たされたそうなの

めでたしめでたし

ヒーロープロローグと中二病（後書き）

実は高町がすぐ行かなかったのは

S・T事件（西園寺多摩事件）が微妙にトラウマ
だからであった

余計な影響しか与えないぜヒーロー！

でも強いぜ！ヒーロー！

ジャンクプロローグ(前書き)

読みにくいと思います

ジャンクプロローグ

「だからね、何度も言ってるじゃないですか妹に優しくしろって」

「ふん、私も何度も言っているわ、人形に優しくする必要は無いですね」

傍から見れば仲が悪い親子だろうか？

実際仲が悪いのだが

二人共睨み合いながらチエスをしている

「あなたは人形、人形とフェイトに
いいですけどね、人形が喋りますか？
人形が動きますか？

フェイトは人形じゃないですよ」

「じゃあ人間は培養液の中から生まれるのかしら？」

「そんなの只の腹から生まれるか培養液から
生まれるかの違いだけじゃないですか

大体ね、あなたはF・A・T・Eプロジェクトだから
フェイトって安直過ぎですよ

俺何か、逆にしてE・T・A・Fでエタフですよ
なんですかエタフって、ネーミングセンスが
無さ過ぎですよ」

「う、うるさいわね」

「あなたはフェイトを
アリシアに重ねすぎなんですよ
あの子はフェイトです
フェイトなんですよ」

「私がアリシアと人形の区別が出来ないとても？」

「出来ないじゃ無いですか
だからイライラしてフェイトに暴力を振るう」

エタフは俺にもねと続けて言う

「あなた前々から思ってたけど
よく創造主である私にそんな口が聞けるのね……
あなたに利用価値がなかったら
速効に廃棄置き場よ」

「早めの反抗期ですよ……それにね
あなたは~~~~~」

と長々とまた文句を言い続ける

「お、やった！王手ですよ王手！」

どうやらエタフが勝ったらしい

「ふう……確かに私の負けね……」

「それより、約束通り、リニスの訓練を一日休ませてください」

「わかったわよ……でもね、エタフ……」

「これはチェスよ、王手は将棋よ……」

「腹から生まれるか培養液から生まれるかの違いと同じ様な物ですよ」

ジャンクプロローグ(後書き)

かなり短い

ジャンクプロローグ 主従交代

「リニスがね消えましたよ」

「そう……」

「それだけですか」

「いいから早く実験に戻りなさい」

「ふん、分かりましたよ」

リニスが消えた……

フェイトが課題をすべてクリアしたのだ

フェイトの育成完了とともに消滅することがプレシアによって決まっていたのだ

言ってしまったばプレシアにとっては

従僕くはひやくが居なくなっただけだと思っただけだろう
だが気に入らない

俺が失敗作に関わらず生かさせて貰っているのは
技術のおかげである

今はアリシアの脳を再生

その後心臓を筆頭にいくつ物
器官を取り替え

蘇らせると行った手段を用いて
アリシアの蘇生を行なっている

……正直言っただけ出来るわけが無いと思っただけだが

だがそれとは別に作成してる物がある

パワードスーツだ

魔力

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6164z/>

リリカルマジカルナンカイル

2011年12月21日01時58分発行